

やまなしスタイル 第7回放送のまとめ

【放送日時】 平成30年10月17日(水) 13:30～

【キーワード】 「山梨での文化拠点としての書店」

【出演者】 宮川 大輔 さん(春光堂書店)

【パーソナリティ】 神部 冬馬さん、山田 千尋さん

宮川 大輔さんの考える「山梨の魅力」

山梨は、自然環境など厳しい部分があるが、それに適応するよう工夫するため、山梨で暮らしていると知恵が育つ。知恵を持った「人」が山梨の魅力。

人口が多すぎず、余白が残っている。

すぐに東京に出ることのできる立地のよさがあり、生活の組み立てが楽しい。

山梨に戻ったきっかけ

- ・山梨の高校を卒業後、静岡県の大学に通い、静岡の広告代理店に就職した。職場の人間関係もよかったので、このまま勤めていくことを考えていた。
- ・広告代理店に勤務を続け、役職も上がっていったが、自分の人生はそれでいいのかと思った。
- ・自分で何かやらないと人生は何も変わらないと思い、山梨に戻り書店を継いだ。

山梨での活動

- ・現在は、医院やホテルなどへ本棚を作り、本に触れあう機会を増やしている。
- ・印伝、甲斐絹、水晶を使用して作ったブックカバーなどの商品開発を行って。NHK 連続テレビ小説のヒロインのバトンタッチセレモニーにて、吉高さんから杏さんへのプレゼントとしてこのブックカバーが採用された。地場産業のPRにも繋がっている。本屋は、今までは本を右から左に流していくのみだったが、繋がりの良さを活かして山梨に貢献する活動ができる。
- ・山梨県で唯一「全国旅をしてでも行きたい本屋さん」という本に掲載された。県外の人にもきちんと山梨を伝えることができるかで、山梨の文化レベルが推し量れるところがある。そこで負けてはいられない。このように、本屋の観光地化が始まっており、県外の人に山梨の魅力を伝えている。

宮川さんオススメの一冊

「ミレーの名画はなぜこんなに面白いのか」井出 洋一郎(中経の文庫)

100点以上のミレーの絵がカラーで掲載されており、その絵を描いた時のミレーの境遇などが書かれている。これを読むことで、ミレーは崇高な存在ではなく、近所のおじさんだとミレーを身近に感じ取れる。

著者は山梨県立美術館で勤務していた方。

この本を読むと山梨県立美術館のミレーの絵の見方が変わるオススメの一冊。



第8回放送

【放送日時】 平成30年11月21日(水) 13:30頃～

【キーワード】 リノベーション

【出演者】 千葉 健司さん(IROHA CRAFT)